

CORISE

MAGAZINE 2025

アジアの新星 カンボジア

次の時代を見据えるあなたへ
贈る、金融と成長の扉。

アクレダ銀行 特集

カンボジア金融業界を牽引する
注目の商業銀行情報。

カンボジア経済のこれから

急成長を続けるカンボジア経済。銀行業界の拡大や
株式市場の発展を背景に、新たなビジネスと投資の
可能性が広がる、今注目すべきマーケット。

VOL. 01



経済発展の著しい カンボジア。

カンボジアの、魅力に触れよう。

CORISE Magazine Vol 01. コンテンツ

3

なぜ今カンボジア？

4

カンボジアの暮らしと文化

5-6

カンボジアの経済発展

7-8

アクレダ銀行とは？
アクレダ銀行のメリット

9-10

注目される証券市場「CSX」
CSX上場企業の魅力

11

サービスのご案内



なぜ今 カンボジア？

Explore The Potential Of
Cambodian Economy



GDP成長率トップクラス

カンボジアは2024年、実質GDP成長率5.5%を達成し、インドネシア（5.0%）を上回る東南アジア有数の成長国となりました。主な牽引役は、好調な縫製業と農業輸出、観光業の回復、そして不動産や農業分野への外国直接投資です。これらの要因が相まって、カンボジアは地域経済の中で存在感を高めています。



人口ボーナス期

カンボジアは人口ボーナス期に突入し、経済発展の好機を迎えています。若年層（30歳未満）が全人口の65%以上を占め、労働力の増加が経済成長を後押ししています。この人口構造の変化により、教育や雇用の強化が急務となり、持続可能な発展への鍵となっています。



外国直接投資(FDI) 東南アジア注目度NO.1

カンボジアは、2024年にFDI注目国として世界1位に選出され、投資環境の改善や経済成長が評価されています。近年は投資流入も急増し、東南アジアで最も将来性のある市場の一つとして注目を集めています。



カンボジアの暮らしと文化



カンボジアの文化は、仏教を中心とした信仰と、クメール王朝時代から続く伝統が息づく、豊かな歴史と精神性を持つものです。



カンボジアは豊かな歴史と伝統が息づく国。アンコール朝の壮麗な寺院群はその象徴です。しかし、20世紀後半にはポル・ポト政権による悲劇的な時代も経験しました。多くの命が失われた暗黒の時代を経て、現代のカンボジア人は仏教の教えを大切に、家族や地域社会との絆を重んじながら、過去の傷を乗り越え強く生きています。

農村部では高床式の木造家屋が一般的で、協力して建てる習慣が残ります。都市部では伝統と現代が融合した生活様式が見られます。カンボジアの人々は温かく親しみやすい性格で、訪れる人々を歓迎します。

食文化も多彩で、魚や米を中心とした独自の料理が特徴。伝統舞踊や音楽、工芸品など、豊かな芸術文化も受け継がれています。カンボジアの暮らしには、自然との共生を大切に、深い歴史の中で育まれた伝統を守りながら、未来へ進む人々の強い意志が感じられます。



カンボジアの経済発展



「カンボジアは、平均年齢が約26.2歳と若く、人口ボーナス期の真ただ中にあります。この豊富な若年労働力は、今後数十年にわたる経済成長の重要な原動力となると期待されています。」

東南アジアの隠れた宝石、カンボジア。その大地には、かつてのアンコール王朝の栄華が息づくと同時に、未来を切り拓く若いエネルギーが満ち溢れています。

特に注目すべきは、平均年齢約26.2歳という驚異的な若さです。これは単なる統計上の数字にとどまらず、カンボジアが今まさに「人口ボーナス期」という、数十年に一度の経済成長の絶好の機会を迎えていることを意味しています。人口ボーナス期とは、生産年齢人口（15～64歳）の割合が高まり、経済成長に好影響をもたらす時期を指します。

これは、労働力が豊富で扶養人口が比較的に少ないため、国家の経済活動が活性化しやすいとされる構造です。実際に東南アジアの多くの国々は、この期間に大きな飛躍を遂げました。

たとえば、タイは1980年代に輸出主導型の工業化によって急成長を遂げ、インドネシアは1990年代に天然資源と製造業の拡大で経済基盤を強化。マレーシアも同時期にIT産業と外資誘致により発展を加速させました。

日本も1950～1970年代の高度経済成長期に人口ボーナスの恩恵を受けた国の一つです。

現在、カンボジアの30歳未満の若者は全人口の約65%を占めており、この豊富な労働力は新たな産業を創出し、既存のビジネスを革新する創造力の源泉となるでしょう。

若い世代は柔軟な思考と最新技術の吸収に優れ、彼らの力はカンボジアをグローバル経済の重要な舞台へと押し上げる大きな推進力になると期待されています。

製造業では生産性向上、観光業ではデジタルネイティブによる新たな魅力の発信が進み、さらにスマートフォンやインターネットの普及により、若者たちはデジタル経済の担い手として革新的なサービスやビジネスを次々と生み出しています。こうした人口構造上の強みをいかに活かすかが、カンボジアの未来を左右します。

国として正しい政策と投資が行われれば、カンボジアはアジアの新たな成長センターとして大きな飛躍を遂げることができるでしょう。



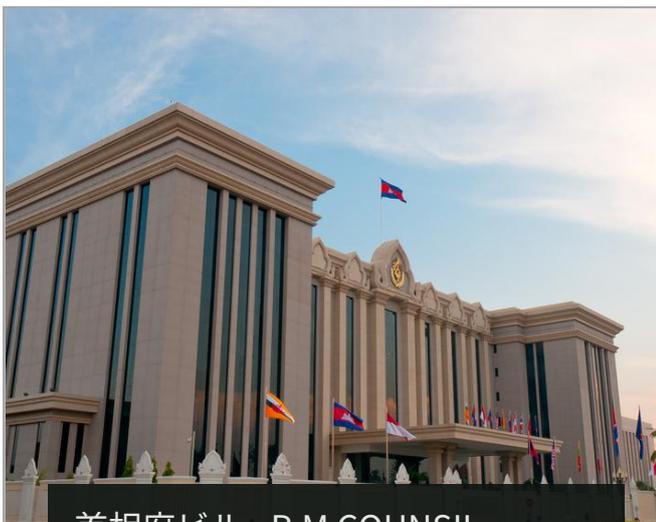
CAMBODIAN ECONOMY

テチョ 国際空港 - TECHO I.A



カンボジアの観光業は、いま大きな成長を遂げています。2024年には外国人観光客数が前年比22.9%増の670万人に達し、ついにコロナ禍前の水準を超えました。なかでも中国からの旅行者は約55%増と大幅に伸び、観光業はGDPの約9.4%を占める主要産業となっています。

さらに注目すべきは、現在プノンペン近郊で建設が進む「テチョ国際空港」の存在です。敷地面積約2,600ヘクタールという広大な規模は世界で9番目に大きく、2025年7月に開港予定。年間1,300万人の旅客を受け入れる計画で、観光とビジネスの両面で国際的な交流が一層活発になることが期待されています。観光客の増加と巨大空港の誕生が重なる今、カンボジアは新たな飛躍の時を迎えようとしています。



首相府ビル - P.M COUNCIL

カンボジアは2030年までに上位中所得国、2050年までに高所得国への発展を目指す長期経済戦略を掲げています。

政府は「ペンタゴナル戦略」に基づき、産業の高度化、人材育成、インフラ整備、制度改革、気候対策を推進。若年層の多さを強みに、未来に向けて持続可能な経済成長を実現しようとしています。



イオンモール - AEON MALL

カンボジアの経済発展を象徴する存在として注目を集めているのが、日系大手イオングループのショッピングモール展開です。首都プノンペンには現在3店舗があり、2023年にグランドオープンした「イオンモール・ミエンチェイ（第3号店）」は、ASEAN地域でも最大級の規模を誇ります。約250のテナントが入居し、買い物だけでなく娯楽・教育の要素を備えた“エデュテインメント型モール”として、多くの人々にぎわっています。都市インフラの整備が進み、国際企業の進出も増加する中、カンボジアは確実に次の成長ステージへと歩みを進めています。





アクレダ銀行とは？



**カンボジア最大級の民間商業銀行一
預金額・融資額・支店数で国内トッ
プクラス。**

アクレダ銀行（ACLEDA Bank Plc.）は、カンボジア最大級の民間商業銀行であり、国内の金融業界をリードする存在です。1993年、戦争被害者や小規模事業者へのマイクロクレジット提供を目的に、国際労働機関（ILO）と国連開発計画（UNDP）の支援を受けてNGOとして設立。

その後2003年に商業銀行ライセンスを取得し、正式に商業銀行へ転換しました。プノンペン本店を中心にカンボジア全土に265の支店を展開し、ラオスやミャンマーにも進出。約12,000人の従業員を擁しています。預金、融資、送金、モバイルバンキング、証券取引など幅広い金融サービスを提供し、特に農村部の金融アクセス向上に貢献。

外国人も口座開設が可能で、米ドル建て定期預金も利用できます。三井住友銀行（約18%）、オリックス（約12%）など日本企業も主要株主に名を連ね、2020年にはカンボジア証券取引所（CSX）へ上場し、同国初の上場商業銀行となりました。



— アクレダ定期預金の魅力

定期預金プラン (アメリカドル)

Hi Growth (USD)	Hi Income (USD)	Long Term (USD)
満期に金利支払い <small>*元本は満期に返還</small>	毎月の金利払い <small>*元本は満期に返還</small>	3か月毎の金利払い (長期) <small>*元本は満期に返還</small>
3か月：1.90%	3か月：1.70%	36か月：4.00%
6か月：2.90%	6か月：2.70%	48か月：4.00%
12か月：3.90%	12か月：3.65%	60か月：4.00%
24か月：3.95%	24か月：3.70%	72か月～：4.00%

KHR預金 (カンボジアリエル)

Hi Growth (KHR)	Hi Income (KHR)	Long Term (KHR)
満期に金利支払い <small>*元本は満期に返還</small>	毎月の金利払い <small>*元本は満期に返還</small>	3か月毎の金利払い (長期) <small>*元本は満期に返還</small>
3か月：3.25%	3か月：2.90%	36か月：5.15%
6か月：4.25%	6か月：3.75%	48か月：5.20%
12か月：5.00%	12か月：4.30%	60か月：5.25%
24か月：5.10%	24か月：4.40%	72か月～：5.30%

*2025年5月時点の利息レートです。金利は変動することがございます。

カードのオプションと仕様

種別	Standard Classic	Gold	Platinum	World
ネットワーク	VISA・Master・JCB	VISA・Master	VISA	Master
年会費	6 USD	66 USD	250 USD	250 USD
ATM出金手数料	4 USドル+引出金額の1%	4 USドル+引出金額の1%	4 USドル+引出金額の1%	4 USドル+引出金額の1%
ATM引き出し上限 <small>*国によって変動する場合があります</small>	10,000 USD	30,000 USD	50,000 USD	50,000 USD
1日あたりの決済上限 <small>*国によって変動する場合があります</small>	10,000 USD	30,000 USD	50,000 USD	50,000 USD
口座開設時の条件	カード発行時、口座に 6 USDの残高	カード発行時、口座に 20,000 USDの残高	カード発行時、口座に 20,000 USDの残高	カード発行時、口座に 20,000 USDの残高

*カードの仕様や条件は変更される場合があります。

→ STOCK MARKETS

注目されるカンボジア証券市場 - 「CSX」



成長が期待される新興市場。

CSX（カンボジア証券取引所）は、2011年に設立されたカンボジア唯一の株式市場で、近年急速に注目を集めています。取引は米ドル建てで行われ、為替リスクが小さいのが特徴。

現在、上場企業数は増加傾向にあり、民間企業だけでなく国営企業も続々と参加しています。さらに、オンライン口座開設や信用取引の導入といった制度改革が進み、投資環境は年々整備されています。

カンボジアは若く豊富な労働力と安定した経済成長を背景に、今後さらなる資本市場の発展が期待されています。

CSXは東南アジアの中でも将来性ある新興市場として、国内外の投資家から注目される存在となっています。



カンボジア株式市場

カンボジア経済が成長中！CSX（カンボジア株式市場）ではキャピタルゲインとインカムゲインの両方が狙える注目市場

カンボジア証券取引所（CSX）は、今後の経済成長が期待される中で注目を集める新興市場です。

若く豊富な労働人口や海外からの投資、インフラ整備の進展などにより、カンボジア経済は今後さらに拡大する可能性が高いといわれています。

そのような環境の中で、将来性のある企業が続々と上場し、投資のチャンスも広がっています。特に、CSXでは以下の2つの投資収益が期待できる点が大きな魅力です。

キャピタルゲイン（値上がり益）

カンボジア経済の成長に伴い、上場企業の業績が向上することで株価が上昇し、値上がり益を得られる可能性があります。特に新興市場のため、将来性が高く、長期的な価格上昇が期待されます。

インカムゲイン（配当収入）

CSX上場企業の多くは安定した配当を出しており、平均配当利回りは約4～5%と比較的高水準です。さらに、米ドル建てで配当を受け取れるため、為替リスクを抑えた収益が可能です。



株価の記載はカンボジアリエル建てです。

1株 70円台～500円台で購入することが可能です。(2025年5月時点)

	タイ	ベトナム	カンボジア
株式市場設立年	1975年 (SET)	2000年 (HOSE/HNX)	2011年 (CSX)
上場企業数	約800社	約730社	11社
取引数	約300億USD	約50億USD	約1億USD未満
経済成長率	3%前後	6%前後	6%前後
人口規模	約7,100万人	約1億人	約1,700万人
証券取引口座数	約2,000万口座 (2023年末)	約870万口座 (2023年末)	約6万口座 (2024年末)
時期	成熟期	成熟期	今から成長期

隣国のタイやベトナムも、経済成長とともに株式市場が発展し、多くの投資資金を集めてきました。カンボジアも同様に、今後の経済発展に伴って証券市場が拡大し、投資先としての魅力がさらに高まる可能性があります。

アクレダ銀行・CSX 口座開設サポートのご案内

カンボジアへの渡航を必要とせず、パスポートのみの個人認証で有効期限5年のVisa, またはMasterバンクカードを発行できるサービスです。

安心の日本語対応サポートで、英語がわからない方でも高金利の定期預金や、現地通貨を世界中のATMからご利用可能です。

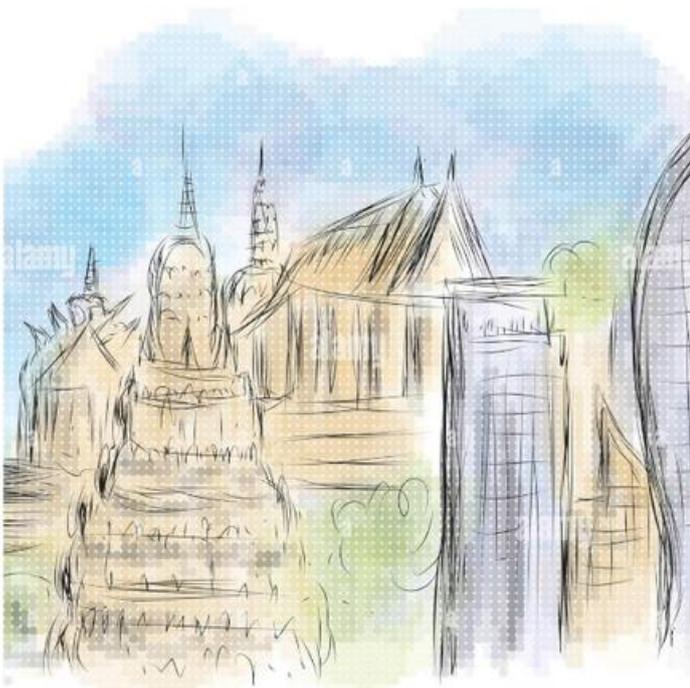
- 個人口座開設費用：\$1,250 (デポジット\$100込み)
- 法人口座開設費用：\$2,000 (デポジット\$100込み)

口座開設を始める方はこちら



渡航不要の簡単4ステップ

簡単、安心、日本語対応



- 1 当ウェブサイトからのお申し込み▼
- 2 必要書類の準備と公証手続き▼
- 3 カンボジアへ書類を郵送▼
- 4 口座開設が完了しカードをお届け💡

CORISE
アジアをもっと、身近に。

Corise Magazine Vol. 01

WWW.CORISE.CC

お気軽にお問い合わせ
ください。

私たちはいつでも、あなたの声をお待ち
しています。ちょっとしたご質問から、
新しいプロジェクトのご相談まで。

CORISEと共に、
次の一歩を踏み出しましょう。

あなたの挑戦を、心から応援します。

 **CORISE**

ふとした挑戦が、
新しい未来をつくる。

@corisecc

E-mail: info@corise.cc

Web: www.corise.cc

CORISE Consulting Co., Ltd.

Address: Building C7 The Fortune Tower, Project The Olympia City, 17th Floor, Office 1702-404,
Street 182 Corner 161, Phum 7, Sangkat Veal Vong, Khan 7 Makara, Phnom, Penh, Cambodia.